



世界自然遺産の島 屋久島

No.25

平成26年
3月

屋久島町 議会だより



大川の滝への一日遠足

シリーズ〔学校紹介〕②栗生小学校（P13へ続く）

《主な内容》

- ◇第4回定例会 P2～13
- ◇総括質疑 P3
- ◇常任委員会 P4～5

- ◇決算審査特別委員会報告 P6
- ◇一般質問 P8～13
- ◇シリーズ〔学校紹介〕 P13

定例会 12月10日 ~20日

◎条例改正等

- ◇「子ども・子育て会議条例」の制定⇒〔子ども・子育て支援に関する施策の増進を図るための条例制定〕
- ◇「後期高齢者医療に関する条例」の一部改正⇒〔地方税法の一部改正に伴い、後期高齢者医療に係る延滞金の割合の特例を改める必要があるために行なう改正〕
- ◇「ひとり親家庭医療費助成に関する条例」の一部改正及び「町営住宅管理条例」の一部改正⇒〔配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正に伴う改正〕
- ◇「税条例」の一部改正⇒〔納期前納付に係る報奨金制度を廃止するための改正〕
- ◇「山芋貯蔵施設条例」の廃止⇒〔当該施設を農林水産関係に限定しない多目的な活用を図るための条例廃止〕

この他、「火葬場整備検討委員会条例」の廃止、「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正、「献血推進対策協議会条例」の一部改正、「環境保全型農業の推進に関する条例」の一部改正が提案された。



H23年9月から供用開始した火葬場

◎一般会計補正予算

- ◇保育所運営補助に係る経費1139万4千円、山岳部保全基金積立金370万円、島内産材需要拡大対策事業補助に係る経費257万5千円、公民館改修経費1279万円等を計上し、歳入歳出それぞれ、1億1845万2千円を追加し、予算総額を**97億862万円**とした。



元気が一番(安房保育園)

◎特別会計補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	備 考
簡易水道事業	△14,859	529,073	繰上充用額の確定による減額
国民健康保険事業	19,757	2,241,858	療養給付費負担金過年度清算に係る経費
介護保険事業	43,189	1,321,982	給付費等の増額に係る経費他
診療所事業	834	197,765	口永良部診療所医師の委託料他
船舶事業	17,619	315,992	フェリー太陽中間検査費用他

この他、工事請負変更契約案1件〔安房中学校耐震補強大規模改修工事の設計変更に伴うもの⇒変更後の契約金額63,222千円(4,422千円の増額)〕、同意案1件〔教育委員会委員＝佐藤明了(一湊)の選任〕、その他1件〔損害賠償金にかかる債権の放棄について〕が提案され、すべて原案のとおり可決、同意した。

◎請願・陳情の審議結果

- ◇「町道及び進入道路の整備に関する陳情」⇒採 択
- ◇「ポータルサイト屋久島マルシェに関する陳情」⇒不採択

◎議員表決一覧(賛否の分かれた議案等のみ) ○は賛成 ●は反対 ※議長を除く

件 名	議員名 結果	石田 尾	日高 忠	緒 方	永 野	山 崎	真 辺 有	岩 川 修	小 脇	下 野	岩 川 俊	日高 豊	真 辺 万	寺 田	渡 辺	満 園
税条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
町道及び進入道路の整備に関する陳情	採 決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○

第4回

総括質疑

所属する委員会以外のことについて本会議で質疑を行なうものです。



安房中学校に設置された耐震ブレース

問 安房中学校耐震補強大規模改造工事について何年か、の延命を目指して行うのか。

答 30年から40年をめどに設計されている。

問 一番のメインである耐震ブレースの設計変更となつて

いるが、本当に減額しなければならなかったのか。

答 室内側ということで、全体の費用面と耐用年数等を考えた時に、亜鉛メッキでなくとも十分つとということで塗装に変更した。

問 子ども・子育て会議条例について、この会議で審査する内容は。

答 子ども・子育て支援事業計画書をどういう形でつくるかという会議になると思う。

問 そのメンバーは、どんな方々を想定しているか。

答 議会議員の代表、保育園・幼稚園の設置者、保護者、行政を考えており、15名以内と考えている。

問 クリーンサポートセンターの運転管理業務委託の債務負担行為は、なぜこういう形で増額になるのか。平成25年度に契約変更をすべきではなかったのか。

答 平成24年度から26年度については、既に9千5百万円の債務負担行為をしているが、26年度について、旧尾之間焼却場から約1千トン搬入するため、その人件費の増額

分の債務負担行為を上げていく。

問 口永良部診療所の医師の確保についての現状は。

答 11月13日、県地域医療課へ医師と医療機関をつなぐ人材サービズ企業から問い合わせがあった。もし、そこからの斡旋で勤務が決まった場合、年俸の約20%を人材サービズ企業に支払うこと等の条件があるため、今後の応募状況を見ながら検討していく。

問 栗生診療所の医師についてはどうなっているか。また、どうして委託料にしたのか。

答 11月7日、医師より退職届けが出されたため、本人に確認をしたら年度末で退職したいとのことだった。

なお、今回は口永良部島等の状況も考慮し、委託料で計上した。

問 ごみ処理施設管理の中の燃料費1千5百万円の内容は。

答 主に軽油、ガソリン、A重油の1月から3月までの分と固形燃料エコ豆炭の購入代である。



鹿の被害を受けたカライモ畑(尾之間)

このエコ豆炭を町が購入して島内の施設で使用するため、今年度約200トンを購入し、一時ストックしようとするものである。

問 鳥獣被害対策について、有害駆除の内容を確認したい。

答 24年度までは町単費で鳥獣捕獲に対し、鹿1頭5千円、猿7千円を頭数に応じて助成を行ってきた。

全国的に鳥獣の農作物被害が甚大であることから、国が各県に緊急捕獲対策基金を造成し、県の協議会に4億9千万円の基金が造成された。

その基金で猿・鹿に1頭8千円の国費が充当されることになった。これに伴い町単費分を3千円ずつ減額した。このことについては、猟友会へ説明し、了承を得ている。

その結果、鹿は町費の2千円に国の助成金8千円を加算して現在、1頭に1万円、猿は町費4千円に8千円を加算して1万2千円の助成をしている。また、狸はこれまで同様1千円を加算して支給している。

問 小動物消却施設で捕獲した鹿を無料で処分していることを知った。大鹿の場合、A重油160ℓ使うとのことだが、猟友会に対して補助金や処分をどのように説明し、お願いしているのか。

答 町費の負担を減らして欲しいとお願ひし、処分については今後は捕獲した猿や鹿は以前の様に適正な埋却をお願いしたい。

意 町民は亡くなったペットの処分や一般ごみの処理も有料であることを考えると、有害鳥獣駆除の分だけが無料になるのはどうかと思う。

常任委員会審査

付託された議案を質疑
討論し採決まで行います。

産業厚生常任委員会

付託された案件は条例案7
件、予算案5件。

子ども・子育て会議条例の制
定

本町における子ども・子育て
支援に関する施策の推進を
図るための制定。

委員構成は。

議会代表、保育園・幼稚
園設置者、学校関係、教育委
員会、福祉事務所を考えてい
る。

無認可の保育所は対象に
なるのか。

答 具体的なことは国から示
されていないので未定。

後期高齢者医療に関する条例
の一部改正

地方税法の一部改正を踏ま
え、延滞金の割合の特例を改
めるための改正。

問 なぜ7・3%と4・6%が
あるのか。

答 納期限後1ヶ月は7・
3%、その後は4・6%で計
算することになっている。

ひとり親家庭医療費助成に関
する条例の一部改正

配偶者からの暴力の防止及
び被害者の保護に関する法律
の一部改正に伴う改正。

問 本町でも実例があるの
か、その連絡方法は。

答 実例はある。ほとんどが
警察を通じてである。

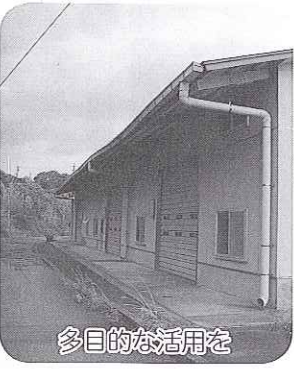
山芋貯蔵施設条例の廃止

農林水産関係に限定せず多
目的な活用を図るためのもの。

問 普通財産にした場合、利
用者はいると思うか。

答 過去に数件申し込みが
あったが、施設が大きく、経
費がかかるので断念した経緯
がある。

問 冷蔵によりタンカンの販
売期間を延ばせれば農家に有
利になるのでは。



答 要望があれば検討したい。

問 補助金は返納したはずだ
が、現在の維持管理にはどれ
くらいの経費がかかっている
か。

答 かつていない。起債の
償還も終わっている。

火葬場整備検討委員会条例の
廃止

屋久島斎場の火葬炉設備の
無償保証期間が終了したこと
によるもの。

問 2年の保証期間内に3カ
所の補修があったとのことだ
が、補修した部分に今後補修
を要することになった場合は
どうするのか。

答 業者の責任で行う確認を
とっている。

問 旧火葬場の解体について
どう考えているか。

答 約5000万円かかる
が、すべて単独予算となるた
め起債等が活用できないか検
討している。

一般会計補正予算(分割)

問 道路維持費の作業員賃金
の減額の要因はなにか。

答 募集したが人材がいな
かった。

問 空き缶処理業務委託にか

かる経費から一般廃棄物収集
運搬業務にかかる経費が3年
にまたがって債務負担行為を
している理由は。

答 随意契約が決まっている
ものは単年度でなく3カ年契
約とし、期間と金額の上限を
設定するため。

問 生ゴミ処理の北部、南部
の金額の違いの根拠は。

答 南部、北部の堆肥セン
ターの諸費を精査したら金額
の差が出てきている。生ゴミ
量も北部が約90t多い。

問 島内産材需要拡大対策事
業補助金が大きく増額されて
いるが。

答 平成24年度から増改築も
対象にしたこと、パートナー
工務店の増加、事業自体の周
知が図られている。また消費
税増税前の駆け込み需要など
も要因と思われる。

介護保険事業特別会計補正予
算

問 介護認定についてクレ
ーム等はないか。

答 介護度がなぜ下がるのか
という問い合わせが3件あっ
た。

問 居宅介護住宅改修費と介

護予防住宅改修費の違いは。

答 前者は要介護と認定され
た者が、後者は要支援と認定
された者が利用するサービス
である。

問 今後こういう要望は増え
る傾向か。

答 増えてくると思う。その
ため、予防教室等を行い、抑
制につながるような努力をし
ている。

問 介護保険事業の運営の実
態、今後の推移について。

答 27年度から29年度は保険
料を上げざるを得ない状況で
ある。26年度が第6期の計画
策定年なので、いい計画がで
きるよう努力したい。

診療所事業特別会計補正予算

問 診療所ごとの後発医薬品
の利用率の差は何か。

答 医師により処方が違うた
め。

問 永田診療所の医師は3月
までだが、その後はどうなる
のか。

答 自治医科大卒の医師が来
る。

以上、討論、採決の結果、
原案のとおり可決すべきもの
とした。

総務文教常任委員会

付託された案件は、条例案3件、予算案2件、その他の案件1件。

町営住宅管理条例の一部改正

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正に伴う改正。

改正でどう変わるのか。

今まで配偶者からの保護だけだったが、今後は配偶者以外からの保護が出てくる。

税条例の一部改正

納期前納付の報奨金を、歳出削減で廃止するもの。

歳出削減額は。

25年度352万8200円。

24年度363万7800円。

25年度360万円支出している。

厳しい指導があったのか。

指導はないが、口座振替えの人や住民税の特別徴収者にはメリットがないため、公平性の面から廃止したい。

多い人で年間の額は。

限度額は5万円で、25年度は千円未満が2497名、1万円以上が37名である。

この廃止は住民には迷惑であるため、住民の意見を諮る必要がある。

税は当然納めるべきものなので税の公平性から、金額の大小に関わらず廃止すべきである。

債権の放棄について

仮差押え処分などはできなかったのか。

賠償金返済の保証人を立てていなかった。その都度本人と話をしたが、負債に追われ返済できない状況になった。

父親名義の土地を本人が亡くなった時に差押えできなかったのか。

財産の全てを妹に相続するという父親の遺言書が発見され、家庭裁判所で正当であると確認されたため、財産は全て妹のものとなり、本人の財産は皆無となった。

家庭裁判所は債権者がいることを認識して検認したのか。また、遺言書は父親が書いたものだったのか。

裁判所が検認し、父親の遺言書だと認めたので、深く追及していない。

一般会計補正予算(分割)

一般管理費の特殊勤務手当

当の減額はなにか。

環境文化財団出向の研修手当である。

環境文化財団への研修派遣はこれからも続くのか。

設立当初、町も県と一緒に取り組んだ経緯があり、県も続けて欲しいとのことである。

職員定数から考えると、どこかの時点で見直すべきだ。

高校就学支援補助金の減額理由は。

月額5万円で計上したが、実績が4万円になったため。

外国青年英語助手(ALT)報酬の減は何か。

2人の内1人を7月から



現在在住の人を採用したため。

ALTの費用は交付税に算定されているのでは。

JETプログラムからの派遣は、普通交付税にそれ以外は特別交付税に算定される。

屋久島空港利用促進協議会の構成員は。

25年度中に設置予定で、委員構成は、農協等の経済団体、観光協会、区連会、地元区長、議会等17名程度の予定。

宮之浦地区バス停設置の交通会社との費用負担は。

交通会社2社と町で3分の1ずつの負担だが、箇所毎に担当して設置し、宮之浦地区は、まっばんだ交通が担当である。

今後の計画は。

宮之浦地区内の八百八さん前を要望している。

奨学金貸付金の回収は、思うように成果が上がらない状況である。

公平性の確保のため、努力して欲しい。

パスポート発行事務は県から事務量に応じた交付金があるのか。

今年度は認証発行機の設

置費用と職員の研修旅費等に交付されるが、今後については県に確認する。

窓口はどうするのか。

認証端末を宮之浦支所に設置し、尾之間・安房支所でも受付け、申請した場所で受け取る態勢をとる。

教職員住宅の管理状況は。

教職員住宅4戸を一般住宅に所管替えるため、修繕費を計上し、修繕済み分と併せ、8戸を来年4月から一般住宅に変更する。

この管理を区に移譲できないか。

検討する。

船舶事業特別会計補正予算債務負担行為の代理店業務委託費の算定基礎は何か。

H23年から25年度は3社による入札で大幅に減額したが、入札時に問題が生じたため今回は前の金額で計上した。

欠航の時、船員はどうしているのか。

船内業務を行なっており、船長が業務管理をしている。

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

決算審査特別委員会報告

審査された議案は、認定第1号平成24年度屋久島町一般会計歳入歳出決算認定から、認定第11号平成24年度屋久島町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定までの11件でした。審査で行われた主な質疑応答は次のとおりです。

- 問** 自分で投票できない代理投票の場合、候補者の名前を声にすることにプレッシャーを感じるという有権者に対して配慮が必要ではないか。
- 答** 選挙管理委員会にはかり検討してみたい。
- 問** 期日前投票の締切時間が宮之浦投票所と尾之間投票所で違うのは公平性を欠くのではないか。
- 答** 過去の実績を踏まえ、効率性と経費節減を勘案して現方式で実施している。
- 問** 教育関連の基金は一本化して整理することはできないか。
- 答** 可能だと認識している。
- 問** 近隣市町村では見られない尾之間支所への会計課職員

の配置の合理性は何か。

- 答** 当該職員がいなければ、支払い事務ができないことから、必要な配置である。
- 問** 初めて県魚連に財政調整基金を預金したことの成果は。
- 答** 地元漁協に約100万円の恩恵があったと聞いている。
- 問** 給食センターの代替要員の確保は。
- 答** 東部に配置されている2人の職員を充てて対応している。
- 問** 地産地消の拡充は。



3位入賞の学校給食メニュー

答 トビウオの活用が定着してきている。また本町のトビウオ、パイヤ、さつまいも、タンカンなどの地元産食材を使った学校給食が、全国2266校の応募の中から選ばれ、南九州代表として「全国学校給食甲子園大会」へ出場することが決まっている。

- 問** 大会の結果は堂々の3位（大衆の投票は堂々の3位）
- 問** 公用車の軽自動車への移行促進は。
- 答** 近年の傾向はそういう流れになっている。
- 問** 太陽丸の往復割引はできないのか。
- 答** 国庫補助の規定上の問題がある。
- 問** 税徴収における傾向は。
- 答** 国保税徴収率が93%を達成したが、一方で住民税、軽自動車税、固定資産税などの低下が見られ、生活の厳しさがうかがわれる。
- 問** 鳥獣被害額と捕獲数は。
- 答** 被害は6800万円と見えている。鹿の捕獲は3800頭（他に国が約500頭）で駆除費用は3360万円となっている。
- 問** 特定検診における再検査



受診率のアップをめざして

答 小学校本校舎の空き室を利用することになっている。

問 「健康の森公園」の競技場活用の誘致は。

答 実業団などの活用については、競技場の4種公認の認定や雨天競技場などの条件整備が必要ことから実質困難である。

- 問** 育英資金の返済状況は。
- 答** 現年度分で1350万円、過年度分で368万円の滞納がある。
- 問** 炭化物処理の現状は。
- 答** 炭化物をエコ豆炭化して、燃料利用する方向で島内の2つのホテルと協議しているところだ。
- 問** 里にまで及んでいるヒル対策は。
- 答** 場所をプロットし、地区にお願いしてクエン酸を散布するようにしている。
- 問** クリーンサポートセンターの小動物焼却炉で鹿を処理することの合理性は。
- 答** 鹿駆除の一助になればと考えて行っているが、一頭処分するのに一万円を超えるコストがかかることから、見直しを含め検討課題としたい。
- 問** 胃の検査については、再検査83名のうち胃がんは1名、肺がんは24名のうち2名、大腸がんは再検査133名のうち2名、子宮がん及び肺がんは0だった。
- 問** 「縄文の里」の委託料が1700万円減額となっているが。
- 答** 他町と比べ高い委託料となっていることから、施設側と協議して減額となった。
- 問** 障害者のスポーツ大会を復活させるつもりはないか。
- 答** 今後協議してみたい。
- 問** 幼児学級の教室として使われている永田小学校講堂が老朽化で取り壊しが決まったが、幼児学級はどうなるか。

議会全員協議会協議内容 〈平成26年1月10日開催〉

○ごみ処理施設管理費のうち炭化物処理委託について

最初に環境政策課松田課長及び笹倉補佐より、クリーンサポートセンターで生成される炭化物の処理経過についての説明があり、現在の状況に至った経過が明らかにされた。

その後、質疑に入り、議員から

- ・エコ豆炭の製造を屋久島でする場合、特許申請は問題ないか。
- ・契約期間は過ぎているのにどうするのか、説明が二転三転している、もっと前に進める形で検討して欲しい。
- ・エコ豆炭として製品にすることが契約ではないのか、加工された製品が野積みされているのならわかるが、ぜんぜん製品化されていない。製品になるよう指導すべきだ。
- ・エコ豆炭の消費先を屋久島で確保して欲しいということを、町は了承したのか。
- ・これからもクリーンサポートセンターで生成される炭化物の処理は(有)チャコール豊新(以下、「チャコール」)に委託するのか。
- ・今、チャコールに送っている炭化物の処理はどれくらいかかるのか。
- ・チャコールにある機械を取り戻すことはできないのか。
- ・チャコールからの覚書には矛盾がある。
- ・チャコールが製造したものを、また町が買うのか。
- ・もうチャコールとは信頼関係もないのではないのか。施設がある限りこの問題はずっと続くことになる。
- ・ここで議論してもはじまらない。チャコールに行って、社長の意向も聞いたらどうか。

そのうえで、この話をまとめたらいいいのではないか。

などの、質疑があり、議員研修会の折、チャコールを訪問することに決定した。

議会動向 〈平成25年11月～26年2月〉

平成25年

- 11月28日 瀬戸内町議会行政調査…議長
- 12月 1日 関東屋久島会総会(東京都)…議長
- 3日 屋久島空港ターミナルビル株主総会
(鹿児島市)…議長
- 5日 第5回議会運営委員会
- 10日 第4回屋久島町議会定例会開会
(～12月20日まで)
- 18日 総務文教常任委員会
(フェリー太陽の事故経過調査)

平成26年

- 1月 3日 町成人式(宮之浦総合センター)
- 5日 町消防出初め式
(宮浦小校庭・宮之浦総合センター)
- 6日 平成26年仕事始め式
(安房総合センター)…議長
- 10日 平成26年第1回全員協議会
(宮之浦支所議場)
- 14日 2014新年互礼会
(シーサイドホテル屋久島)
- 18日 自衛隊第8師団音楽隊ふれあいコンサート
(宮之浦総合センター)
- 20日 県議長会第4回理事会(鹿児島市)
- 21日 議員研修会(鹿児島市)
- 22日 チャコール豊新訪問…議員全員
- 27日 県議長会臨時理事会(鹿児島市)
- 28日 宮崎県議会行政調査

- 2月 1日 たんかん吸入式…産業厚生常任委員長
- 2日 ジョギングやくしま
- 3日 熊毛地区消防組合議会定例会
(西之表市：議長，総務文教常任委員長)
- 4日 鳥取市議会行政調査
- 6日 熊毛郡議長会事務局職員研修会
(鹿児島市)
- 7日 三重県鈴鹿市議会行政調査
県後期高齢者医療広域連合議会研修会
(鹿児島市)
- 14日 神奈川県箱根町議会行政調査
種子島屋久島議会議員大会採択事項要望
活動(県庁・県議会)
種子島屋久島振興協議会
(鹿児島市：ホテル福丸)
米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会
(〃)
県下一周駅伝大会熊毛チーム激励会
(〃)
- 16日 サイクリング屋久島2014
- 18日 県町村議会議長会定期総会(鹿児島市)
県離島振興議長会定期総会(〃)
長崎県議会行政調査
- 23日 第1回トレイルラン大会(旧一湊中)

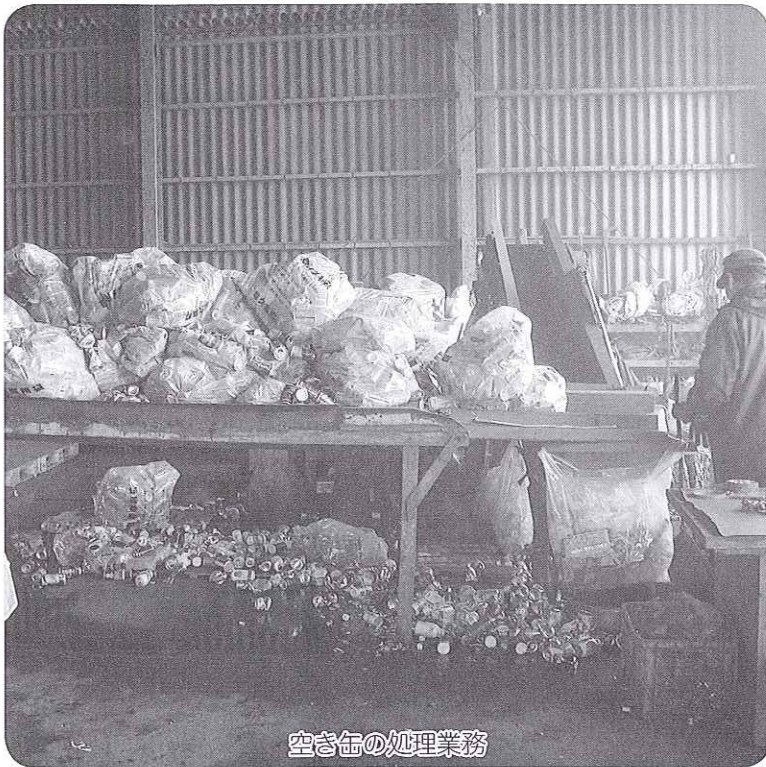
一般質問

8人が町の考えを問う

12月11・12日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。

この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。



空き缶の処理業務

資源ゴミ(空き缶等)の随意契約の根拠は何か

町長／十分精査して内部で検討する



小脇 清保 議員

問 資源ゴミである空き缶等については一社の随意契約で

ある根拠は何であるか？

答 旧町時代空き缶の買い取り価格が安く、島外に引き取り業者が無く受託業者がこの業者だけであった事である。

問 一社随契で落札した空き缶等の歳入金額187万に対し188万7186円の処理

委託料を払っている。有価物に何故処理委託料が発生するのか？過去の経緯が有ったにしてもこれは一種の便宜供与で有り住民への背信行為と思わないか？

答 整合性が取れてないので内部で検討する課題であるので十分精査する。

意 26年度の予算編成で見直される事を期待する。

職員教育の徹底と目安箱の設置について

町長／公務員としての自覚を促す

問 最近職員が住民に対して応対や挨拶が無いなど苦情が多い職員のあり方を見直すべきである。

答 分庁方式の為一同に訓話をする機会がないが課長会を通じて私の思いは伝えてある。更に徹底する。

問 住民の苦情や要望を聞く目安箱を設置してはどうか？
答 質問の通告を受けて担当課に指示して4ヶ所設置してある。

県内で開催される全国規模のイベント等に伴う観光対策は

町長／担当課内に人員を配置し万難を排して対応する



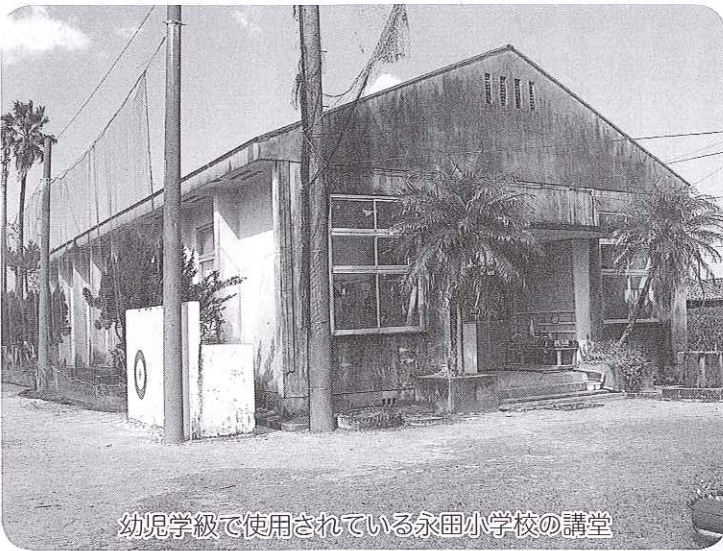
真辺 有次 議員

問 平成27年度に県内一円で開催される国民文化祭の本町における受け入れはどのようになっているか。

答 10月31日から11月15日の期間を中心に開催する。本町では「全国木工芸の祭典 屋久島」と「屋久島大満喫！エコツアー屋久島」が実施予定である。運営等の詳細は今後実行委員会等で協議する。

問 国民文化祭及び7年後に開催予定の国民体育大会への参加者や観客等を屋久島観光に誘客する対策を早めに講じるべきと思うがどうか。

答 すでに各行政機関と協議している。また、屋久島旅行



幼児学級で使用されている永田小学校の講堂

プランの提案や広報活動など
官民の連携にも努めたい。さ
らに、東京オリンピックに向

けても屋久島への外国人観光
客の受け入れを図るため、情
報発信の強化に努める。

閉校後の中学校跡地の活用策は

町長／早急に有効利用のための基本方針を策定する

問 閉校からこれまでの取り
組みの進捗状況は。

答 本町の将来及び各地域振
興を基本に進めている。今後
早急に有効利用のための基本
方針を策定する。

問 子どもから高齢者まで、
また、障害者や福祉事業所等
も一緒になって利用できる施
設、さらに、町が実施してい
るリサイクル市などを常時開
設する施設、これらを併せた
複合施設としての
の活用は考え
られないか。

答 今後、地域
や事業所等の要
望があれば検討
していきたい。
学校跡地は地域
の愛着が強いこ
とを踏まえ、地
域の幅広い意見
を集約し、地域
に真に役立つ施
設として考えた
い。

本庁舎建設の場所と規模・完成までのタイムスケジュールは

町長／26年度当初予算に基本設計経費と木材調達費用
を計上し事業を推進する



寺田 猛 議員

問 新本庁舎は、国の森林・
林業再生基盤づくり交付金事
業を活用した木造建築物であ
ると示されているが、建設す
る場所や規模、着工から完成

までのタイムスケジュールを
明確にし、町民や議会のコン
センサスを得て着実な事業の
実施を図るべきでは。

答 完成年度に本庁舎勤務の
者が約150名と推定し、建
物の規模は3000平方m程
度、28年度着工、29年度完成。
場所は、26年10月までに決定
したいが、詳細は庁舎建設検
討委員会が協議する。

強く要請すべき。
屋久島の空港の整
備、拡充の計画

町長／小型ジェット
機が就航可能な滑
走路の300メー
トル延長を国・県
に要望する

問 外界離島の自治体
にとって海路・空路の整
備・拡充は生命線であ
り、最大の振興策である

と考えるが、屋久島空港の整
備・拡充を国家プロジェクト
として位置づけ国・県に強く
要請すべきでは。

答 屋久島空港で2000m
の滑走路は物理的に無理。小
型ジェット機就航可能な
1800mでの整備を国・県
に要請し、羽田直行便の就航
を目指したい。

フェリー太陽の離島航
路運賃割引制度を創設
すべきでは

町長／口永良部島民割引
制度を26年度から実施
する。農林水産物の航
送運賃割引は今後検討
する

問 高速船との乗り継ぎのた
めに運航時間を変更すべきで
は。

答 利便性向上のため関係機
関と協議する。

口永良部島診療所の、
常駐医師確保の展望は

町長／問い合わせはある
が大変厳しい。今後も
確保に向けて努力する

議会基本条例への対応は

町長／要請にはしっかりと対応する



日高 豊 議員

問 条例第6条に関して、開

会及び閉会中の文書での質問への対応や、議員の口頭での要請に対しての記録作成についてはしっかりと対応ができるか。また、第7条についてはどうか。

答 しっかりと対応する。

問 第5条に関して、議会広報の充実のためのネット中継や配信を行うべきではないか。

答 ユーチューブ等を利用した対応であればさほど費用が掛らないので具体的な検討をしたい。

二十周年屋久島からのメッセージで伝えたいことは

町長／原点に帰ってやる

問 青少年の教育の場所としての活用が謳われているが、

具体的にはどのようなことか。

答 教育旅行の誘致や屋久島高校環境学科の活用また、新たな教育機関の誘致ということ。

問 自然遺産地域のリーダー

としての具体的な取り組みは。

答 自然遺産地域の連絡会を早期に作り、責任分担を明確にして行きたい。

問 自然資源の運用や観光のあり方を屋久島ルールとして

確立するとはどういう事か。

答 関わる多くの人が共通の理念をもとに保全と活用のルールを定めること。また屋久島はどのような観光地を目指すのか共有すること。

問 集落作りと産業の振興とは何をやるのか。

答 26集落の歴史文化等、島を形作ってきたものをしっかりと守り伝えていくこと。名をあげてもそこに住む人の暮らしが豊かにならなければいけない。そのための取り組み。

学校トイレの蚊と洋式化への対応は

教育長／蚊の対策は業者と相談しながら、洋式化は年次計画でやっていく



渡辺 博之 議員

問 「学校のトイレは蚊が

いっぱいいていきたくない」と子供の声がある。気持ちよく用を足したいと思うのは大人も一緒だ。またトイレの洋式化を求める声も多かった。これらに対する対応策を示して欲しい。

答 今年の蚊の発生は異常だった。今後は業者に相談しながら対応したい。トイレの洋式化は、1基20万円かかることから年次計画でやっていきたい。

「どこの中央中？」と聞かれる歴史に終りを

教育長／「屋久島」を表することは差し支えない

問 中央中学校がスタートして以来、子供たちが県大会など出場するたびに「どこの中学校？」と聞かれることが続いている。こういう歴史を積み重ねていいのか。事態を解消する検討が必要ではないか。

答 校歌やネームの変更などが伴う校名変更は、煩雑さや財政上の問題から難しいが、ユニフォームに「屋久島」を表示することは、差し支えないのではないかと。

中学校県大会の出場の父母負担軽減を

町長／配慮したい

問 せっかく果した県大会に経済的理由で出場できない中学生がいるという。町の補助金は大人の場合、1人2万9千円に対し、子供は1万5千円となっているが、いくら考へてもこの違いの根拠を見つけてはできない。経済的理由で出場を断念しなければならぬ子供を作り出してはいけません。

答 そういうことがないように配慮していきたい。

鹿民の事故から子供を守れ

町長／努力する

問 鹿の捕獲用罠に犬、猫などペットの犠牲が増えている事態に、子供の事故を心配する声が広がっている。万全の対策を求めたい。

答 関係団体と連携しながら、指導の強化など事故防止のため努力したい。

○その他の質問

牧山地区農業用水確保への対応についての質問に、既に改善を指示しているとの答弁があった。



「どこの中央中？」と聞かれる歴史に終止符を

口永良部島の防災対策については

町長／道路改良の必要性を認識している



石田尾 茂樹 議員

問 湯向港からの島民の島外脱出を想定、町道本村湯向線の避難路として安全面から早急な改良が必要と思うが。



口永良部島での防災訓練

答 地域防災計画に基づき、実践的な訓練ができています。道路改良について、導入できる補助事業はないか関係機関と協議を行う。

地域防災計画については

町長／本編を地区公民館に配布する

問 本町の防災対策や災害発生時の対応の全てを網羅した地域防災計画の関係機関に対する配布の現状、町職員に対する地域防災計画の周知については。

答 全編を町ホームページに記載し、誰でも閲覧できる状況に整備している。関係機関に対し配布しているが公民館には配布していない。職員の災害時の行動マニュアルや通信機器の取り扱いマニュアルを作成し、県の地域防災計画の見なおしの後に、本町の地域防災計画を修正し、職員に対し防災をテーマとした職員研修を実施して周知を図る予定にしている。

フェリー「太陽」事故報告（12月20日町長より）

12月17日16時30分、口永良部島から宮之浦港へ航行中、一湊沖で大きな波により操舵室の窓3枚が割れ、一気に流入した海水により、電子機器が故障し、舵が使えなくなり航行不能になった。事故の一報を受け、鹿児島運輸支局及び海上保安部へ連絡を入れた。

無線・船員の携帯電話とも使用不能で現状が分からなかったが、乗客の携帯電話を借りて連絡があり詳細を把握した。

当日は、乗務員6名、乗客3名が乗船しており、乗組員2名がガラスの破片だけがを、乗客1名が船酔いとの報告であった。この報を受け、副町長、総務課、財産管理課で対策本部を設置し、宮之浦支所で情報収集を行なった。

この日は、東の風が強まるとの予報だったので矢筈岬の西側まで何とか自力で避難し、アンカー投錨を行ない、救助を待つことにした。

海上保安部より巡視船2隻を現場へ向かわせる旨連絡があった。21時17分「さつま」が到着し、乗客の救助作業を行なおうとしたが、強風で船体が安定しないため、作業を中止し監視体制に移行した。また、フェリーを曳航する

タグボートを県内で調達できなかったため、長崎のタグボートを手配した。

翌18日、海上保安部から7時より救助作業を始めるとの連絡があり、職員2名が一湊漁港で待機し、7時50分、乗客3名の救助を終了した。

船酔いの1名を除く2名は比較的元気で、乗組員の対応は適切で親切であったとのことだった。

その後、11時45分、タグボートが到着し、曳航作業を行なう予定だったが波・風が強くなり作業は危険と判断し、翌朝行なうことになった。9時30分より曳航準備に入るとの連絡があり、その旨を運輸支局、海上保安部へ連絡し、10時58分宮之浦港へ接岸することができた。

事故の原因究明は、これから行なわれるが、生活航路として安心・安全に運航することの使命感を再認識し、乗船する皆さんが安心して利用できる体制並びに安全な航路体系の維持に努めていく。

また、今後、口永良部島へは「ふみ丸」を運航し、貨物は貨物船等に対応するよう関係機関と協議を進め、口永良部島民が安心して暮らせるよう努めていく。

幼児教育の体制づくりをどう考えているか

町長／国の動向、県の指導、他市町村の状況等も踏まえて検討していく



山崎 利広 議員

問 子ども・子育て支援法案等の改正により市町村の業務が増えてくるが、どのような体制づくりを考えているか。

また、これに伴う八幡幼稚園の対応をどうするのか。

答 国の財源確保等の不透明なこと等から、国の動向、県の指導、県内他市町村の状況等も踏まえて検討していく。

また、八幡幼稚園は、園舎の老朽化もあり、更に保育園を併設すると経費もかなり掛かるため、今後、検討委員会を設置して協議をしたい。

問 平成27年度スタートの部分もあるので、子ども係を新設し、しっかりとした人員配置をすべきだと思うが。

答 県の指導等を受けながら

検討していきたい。

問 これまでにどのような機構改革を行ってきたか。

答 財産管理課の設立や町民生活課の一本化など現況の組織の中でできることをやってきた。今後も庁舎内の組織機構に関する委員会でも協議をしていく。

問 早めの体制づくりを行い平成27年度施行に間に合うように取り組んで欲しいがどうか。

答 遅れないよう準備をしていきたい。

地域産業活性化のための観光産業と他産業との連携の取り組みは

町長／クルーズ船寄港時や航空会社が行うキャンペーンへ地元産品の提供をしている

問 地域産業の活性化のための観光産業と他産業の連携に向けた取り組みと今後の対応



火之神山埠頭

は。

答 クルーズ船の寄港時や航空会社が行うキャンペーンへ特産品を提供している。また、エージェント等を招いたイベントで、ランチミーティングを開催し、地元食材を提供するなど観光PRを行っている。

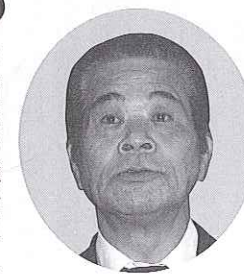
また、町果樹試験園のタンカンをヤクスギランド「森泉」内で配布し、PRと併せてアンケート調査を行う予定である。

夏祭り時の花火の運送経費について

町長／議会の承認を得て米年度予算に反映させたい

指定管理者の改定は

町長／基本的には難しい。区と協議し精査する



岩川 修司 議員

問 石楠花の森公園・青少年旅行村は栗生地区が指定管理業務を行っているが、当初より現在に至るまで公園の方は累積赤字となっている。指定管理者を除き業務委託としての考えはないか。

答 地方自治法や条例規則等関係法規と照らし合わせた結果、業務委託は出来ないと判断しているが、公園の運営向上について対策を立てるよう改めて指示。

問 協定書の中に協定の改定第20条特別な事情が生じたときは甲乙協議の上協定を改定することが出来るとあるが。

答 区と協議し精査する。

問 委託料は第6条の中で管理業務に対する委託料は支払

わないものとするとなっているが、委託料を支払うべき特別な事情が生じたときはその都度甲との協議の上とあるが、委託料の可能性があるので。

答 区と協議し精査する。

問 使用料について改定・減免基準の改定についての考えは。

答 使用料・入材料は随分以前に制定したままで問題があると理解しており減免基準も合せて検討したい。

病院予定跡地の検証と今後の方向は

町長／有効な活用方法を生み出せていない

問 4年前、2年前と質問したが今だに答が示されていない根拠は。

答 職員等の意見を聴取し、さまざまな提案があったが、検討委員会では、町が整備し



今後の利活用は？

て活用することは、財政上困難。

問 今後の方策は。

答 恒久的な有効活用の方策は示せないが、庁舎建設の木材の乾燥場所として利用できないか検討。

答 他の施設への活用が望ましいが整備することは財政上困難。売却する方向で購入希望を募集。

問 耐震強度は猶予されているか。

答 壁をぶち抜いて検査した方が十分使える。

シリーズ学校紹介②

栗生小学校

栗生小学校は西武林道の南端に位置し、手つかずの自然がそのまま残された地域にある全校児童27名（1年、2年、3・4年複式、5・6年複式、計4学級）の学校です。

校区は、中間・栗生の二つの集落からなり、古くは島内の経済・教育・文化の中心として栄えていましたが、昭和40年代から過疎化・高齢化が急速に進んできました。

創立134年の伝統を持つ本校の歴史をひもとくと、明治13年の学校創立までは寺子屋教育がなされており、明治中期には、島内で最初の嶽南高等学校が設立されるほど、教育熱の高い地域でした。当時の教育方針は「嶽南精神」と呼ばれ、現在に受け継がれており、校区民の誇りでもあります。

本年度の教育目標は以下の通りです。

「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」など、しなやかに生きる力を備えた栗生っ子を育成する。

一事徹底事項として「あいさつ・読書・後始末・鉛筆や箸の正しい持ち方」を掲げ、毎日意識して取り組ませています。また、PTAや学校保健委員会と協力し、基本的な生活習慣の一つとして必ず身に付けるよう、互いに声を掛け合い高め合っています。

栗生小学校の主な特徴を三つ挙げてみます。

(1) PTA活動

本校PTAは親の全員参加が原則になっています。そのため、PTA主催の会合があるときはほとんど全員が参加し、活動を盛り上げています。先日行われた「歩こう会」には、60名余りの参加がありました。小規模校ならではの協力体制と結束力の成果だと思っています。

(2) 地域環境を生かした体験的な活動

① 栗生川でのカヌー体験



体験活動(栗生川でのカヌー)

(3) まんてん留学(山海留学) 生の受け入れ

平成15年度から留学制度を実施し、全国から31名の留学生が栗生小学校で学んできました。来年度は5名の留学生が転入の予定です。

来年度はさらに地域やPTAと密に連携を図り、基本的な生活習慣を身に付けた「やさしく、かしこく、たくましい」児童の育成に向けて、充実した教育活動を進めて行きたいと思っています。

カヌーやドラゴンボート体験をすることで、水の楽しさや危険について学びます。河口から1kmほど上流の汽水域にあるため、上層域と下層域の水温の違いなどを直に感じることもできました。

② 栗生浜でのウミガメの放流

栗生校区の海岸には、毎年たくさんウミガメが産卵に上陸します。その中の1、2頭分のウミガメの卵を家庭の孵化場に入れ、孵化を待つて放流します。来年度は、子どもたちが当番で朝に海岸の巡回活動をする予定です。

③ 地域の高齢者との交流

地域の高齢者と定期的な交流を行っています。特に県民週間中には、グランドゴルフをしたり、給食を食べたりしながら、昔の様子を教えてもらいます。年2回の学校整備作業のときは、草の取り方などを教えてもらっています。

クイズ

問 1、全国学校給食甲子園大会へ応募した学校数は何校か。

2、鳥獣被害対策の鹿1頭に対する助成金の合計額はいくらか。

3、栗生小学校は創立何年か。

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

屋久島町議会事務局

電話 4315900

クイズ係

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで左記へご応募ください。

◆締切日

平成26年5月7日(水)消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404
屋久島町尾之間157番地

▼24号の正解は、次のとおりです。

問1 23(人)

問2 16(年)

問3 700(万円)

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に図書券をお贈りしました。

○町本 めぐみ様(一湊)

○伊藤 須津恵様(安房)

○梅田 信子様(尾之間)

議会を見にきませんか

・だれでも自由に傍聴できます。
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。
6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場
12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

投稿写真



保食神社(尾之間)境内の桜
佐々木康則様(湯泊)

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。
このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。
一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。
採用された方には、粗品を進呈いたします。
不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

子供たちへ

子供の成長をみるのは、親の喜びである。
一日一日成長していく子供たちをみていると笑顔になる。
子供たちにとって無駄な事はなにもない。

全ての経験が必ずしも結果には繋がらないがそれで良い。
一人一人が自分のペースで成長し経験を積み重ねそれが子供たちの「個性」になっていく。
勝ち負けなんてどうでも良い一生懸命な姿に感動がある。
ナンバー1ではなくオンリー1で良い。
そんな、子供たちをこれからも応援していきたい。(緒方)



発行責任者 議長 日高好作
編集責任者 議会広報委員会
委員長 山崎利広
副委員長 緒方健太
委員 渡辺博之
真辺有次